1♂1♀，長崎県対馬有明山山頂付近，28. vii. 1975, 高橋和弘採集；1♀，福岡県宝満山，13. vii, 1968, 入江平吉採集；4♂♂1♀，宝満山，8. vi. 1969, 入江採集

採集記録の追加として：

2♂♂3♀♀，大分県久住山，24, vii. 1977；3♂♂3♀♀，宮崎県白岩山，25. vii. 1974，いずれも入江採集

これらの記録は前号に掲載する予定であったが，初校の刷りあがり後に御教示いただいたので，出版期日との関係上入れることができなかったものである。ここに改めて入江，高橋両氏に厚く感謝申しあげたい。

*）K. KUSAMA, Y. TAHIRA (1977): ELYTRA, **5** (2), pp. 39〜42

（〒422 静岡市大谷 836 静岡大学理学部）

伊良部島のカミキリ

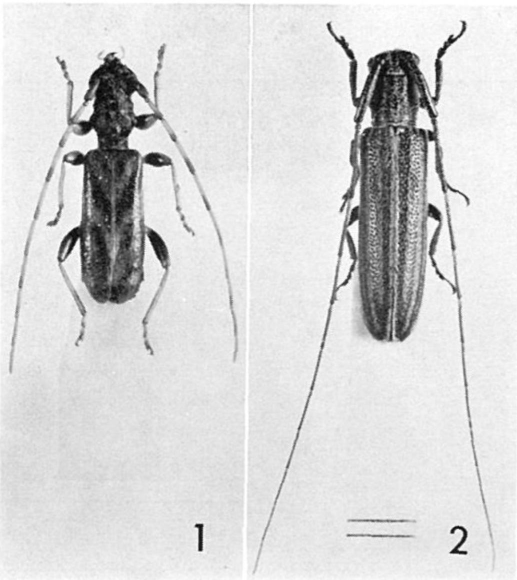
小倉　直樹

筆者は1977年2月中旬より6月下旬まで南西諸島の各島嶼を調査する機会を得たが，その際，宮古列島の伊良部島において興味深いカミキリを採集しているので報告しておく。

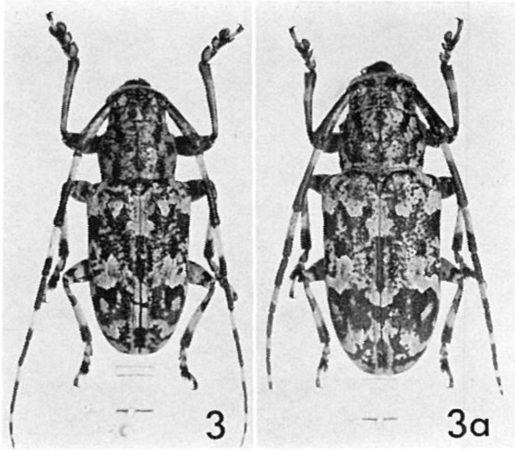
伊良部島は起伏の少ない平担な小島で，採集は比較的林の残っている佐和田付近で行なった。採集したカミキリは次の5種で，すべて1977年6月4日に得た。

1. タイワンメダカカミキリ（写真1）
Stenhomalus taiwanus MATSUSHITA
1 ex., 著しく黒化の傾向を示している。

2. *Mesosa* sp.（写真3，♂；3a，♀）



1　2



3　3a

5♂♂4♀♀

枯枝のビーティングおよびフクギの倒木にいたものを採集した。体型・上翅の斑紋共イシガキゴマフ *Mesosa yonaguni subkonoi* に似るが，前肢が長く，この点ではアシナガゴマフ *M. praelongipes* に近いような印象を受ける。すなわち上記2種の中間のようなカミキリで，きわめて興味深い。♂の腹部の先端は *M. praelongipes* のようには突出しておらず，筆者は見ていないが池間島で得られた *Mesosa* sp.（*M. praelongipes* に近く，♂の腹部先端は突出しているという）とも異なるように思われる。

3. アトモンチビカミキリ
Sybra baculina miyakoana HAYASHI
4♂♂1♀，枯枝のビーティングで得られた。

4. フタモンサビカミキリ
Ropica caenosa (MATSUSHITA)
2♂♂1♀

5. イマサカドウボソカミキリ（写真2）
Pothyne imasakai HAYASHI
1 ex., つる性植物の枯れた部分のビーティングで得られた。

ごく最近記載された種で，原産地の与那国島以外では石垣島の北部でしか採集されていない（石垣島は未発表）。上記の1 ex. は体長10 mm と著しく小型の個体である。

原産地の与那国島産および石垣島・伊良部島産のすべての個体が，原記載とは色彩・触角末端節の長さが異なるが，他にはまったく *imasakai* の記載に該当するような *Pothyne* はいないので，現時点では *imasakai* と同定しておく。

末筆ながら，5. の種の同定には高桑正敏氏より多くの御教示をいただいた。明記して深謝したい。

（〒114 北区王子本町 1-15-8）